

平成 29 年度岡山市市民協働推進モデル事業報告書

実施 団体	団体名	一般社団法人ぐるーん (担当者 河本美津子)			
	合同実施団体 (* 協議体・実行委員会等で実施した場合、構成団体をすべて記載してください。)				
協働した岡山市の 担当課等と担当者	課名	こども総合相談所		電話	086-803-2525
	担当 2名	職名	措置課長	職名	総務課長
		氏名	植山 一夫	氏名	内田 英樹
事業の名称	里親委託を推進するための、里親制度の普及啓発及び委託促進事業				
<p>本事業により解決を目指した課題とその成果</p> <p>※アンケートなどあれば添付してください。</p>	<p>(課題)</p> <p>・社会的養護が必要な児童について、国は平成 28 年児童福祉法改正を端に、平成 29 年 8 月には「新しい社会的養護ビジョン」を打ち出した。このビジョンには、今から 7 年以内に就学前の子どもの里親委託率を 75%以上にするなどが盛り込まれている。従来、里親・ファミリーホームへの委託児童割合を 3 分の 1 にする方針を示してきた国策がさらに強化された形である。しかし、岡山市の平成 28 年度当初里親委託率は 12.8%で全国平均 15.6%を下回っており、政令市 20 市の中でも 14 番目となっているのが現状で、岡山市内の里親登録数は約 110 名と目標には遠く及ばない。また、虐待事例や発達障害の増加にともない、対応に難しさを伴う児童も多く、そういった児童のひとりひとりの状況に応じて委託する先を選択することは非常に困難であるのが現状である。以下に課題を挙げる。</p> <p>①里親制度の認知度の低さ</p> <p>里親制度についての市民の認知度は低く、社会的養護の子どもたちや里親を地域で支えるという意識やシステムが存在しない。行政のみでなく民間のネットワークを利用した周知活動による普及啓発が必要。</p> <p>②養育スキル獲得のための機会の少なさ</p> <p>乳児院・児童養護施設はその性質上、あまりオープンな場所ではない。そのため、里親登録はしているが児童を委託されていない里親(未委託里親)が、委託が期待される児童とふれあったり、施設で暮らす子ども達への理解を深めたりする機会が少ない。養育スキル向上のための研修等が少ないことも課題である。</p> <p>③里親登録者数がまだ少なく、偏在していること</p> <p>岡山市内の里親登録数は約 110 名であるが、まだ里親登録者がいない学区も存在するなど、児童を委託する上で生活圏が選べないなど、委託の阻害要因となっている。</p> <p>(成果) 上記課題に対応</p> <p>①社会的養護と里親制度についてのフォーラムを年 1 回、学習会を年 2 回開催した。また、来場者数が数万人規模の子育てイベント「HUGHUGWORLD2017 チャレンジ」(2017.9.17-18)にブース出展し、意識調査アンケートを実施。350 人から回答を得た。同時にチラシ等を配布し、普及啓発活動を行った。10 月には市役所ロビーにてパネル展示をした。また、啓発用の冊子を作製し、昨年作製のリーフレットをも増刷した。</p> <p>フォーラムでは、受講前と受講後にアンケートを実施し、里親制度への理解度が受講後に</p>				

	<p>上昇したと回答した人が53%、変化なしと答えた人が40%、低下したと答えた人が7%であった。また、里親への意欲については、上昇したと回答した人が38%、変化なしと答えた人が54%、低下したと答えた人が8%であった。制度への理解は深まったが、それをいかに里親をやってみようという意欲の向上につなげるかが今後の課題である。</p> <p>勉強会でのアンケートでは、「内容が非常によく、もっと早く聞きたかった」等の声が寄せられた。</p> <p>子育てイベントでのアンケート調査の結果、「里親制度を知っているか」の問いに「はい」と答えた人の割合は56.2%と過半数を超えたが、そのうち「一時里親と養育里親の違いを理解しているか」に「はい」と答えた人は22.8%にとどまった。つまり全体では、制度を理解している人は多くても12.8%にとどまっていると考えるのが妥当である。回答者の実に95%以上が子育て経験があると答えており、まさに子育て中の20代～40代が90%という回答状況下で、12.8%の認知度という数字はかなり低いと考えるべきだろう。数万人の来場者に対し、アンケートを350人に協力していただくことすらかなり難しかった。里親という言葉を見ただけで、目をそらし足早に立ち去る人も多く、アンケートの記入をお願いする際に、「里親？無理無理。」という言葉は何度も耳にした。10人に声掛けをして1人回答してくれれば良い方、という状況であったため、実情では里親制度の認知度は12.8%を大きく下回ることが予測される。制度に対する認知度の低さが浮き彫りとなる結果ではあったが、里親制度やぐる一んの活動に興味をもって、ブースに足を運んでくださる市民の方も存在した。今後も地道な草の根活動で、理解者を増やしていくことの重要性も明らかとなった。</p> <p>②通算年13回のワークショップを開催した。内訳は、花育ワークショップ（生花を使ったアレンジメント）4回、模型ワークショップ（将来住みたい家の模型作り）1回、鍵盤ハーモニカワークショップ8回。これにより、里親に関心のある市民と社会的養護の子どもとの交流ができた。交流を通じ、里親委託の前提となる「大人と子どもの信頼感」の形成に資した。また、①で述べたフォーラムと勉強会は、養育スキルの向上にも資する内容であった。</p> <p>③「里親登録者数の増加と、偏在の解消」のために、里親登録者数の少ない岡山市東区と南区において、各1回ずつDVD上映会を実施した。</p>
市と協働した内容と協働の効果	<p>1. 団体が果たした役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の人脈・ネットワークを活かしたイベントの周知と集客。 ・豊富なボランティアによるアンケートやブース出展の実施 ・行政視点では思いつかない企画（花育・模型・鍵盤ハーモニカワークショップ）を提案し、ボランティア人材を活用して実施することで、里親制度に関心を持つきっかけを提供した。 ・里親に興味を持った方にはぐる一んに加わってもらい、イベント等に積極的に招待した。 <p>2. 岡山市の担当課等が果たした役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親と暮らせない子ども達の現状と家庭養育の必要性の周知、里親・養子縁組制度についての情報提供と専門的知見からのアドバイス。 <p>3. 協働した効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政視点では思いつかない企画の実施が可能になった。 ・ぐる一んのネットワークの活用により、イベントへの集客がスムーズになされた。また、イベントでの行政からの的確な制度説明により、市民に正しい里親制度の知識が周知された。 ・「里親制度に関心を持ってもらう」→「登録」→「委託」が途切れずリレーされるイメージをお互いが持って活動することで、それぞれの役割を理解し、積極的な活動につなげること

	<p>ができた。</p>
<p>事業の内容</p> <p>※事業内容が具体的にわかる資料を添付してください。(チラシ、報告書、写真等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的養護・里親制度についてのフォーラム（1回、添付資料：開催案内、アンケート集計表、写真）10/7 参加者80名 ・愛着障害についての学習会（1回、添付資料：開催案内、アンケート集計表、写真）8/10 参加者43名 ・自己肯定感についての学習会（1回、添付資料：開催案内、写真）3/15 30人 ・ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> 花育（全4回、添付資料：開催案内、事業報告、写真）参加者子ども延44人大人延62人 模型（2日間1回実施、添付資料：開催案内、事業報告、写真）子ども17人大人15人 鍵盤ハーモニカ（全8回：添付資料：開催案内、事業報告、写真） 子ども延29人大人延60人 ・子育てイベントアンケート（1回、添付資料：イベントチラシ、アンケート集計表）9/17、18 ・DVD上映会（全2回、添付資料：開催案内、事業報告、写真）9/14 17人、11/11 15人 ・里親月間パネル展（1回、添付資料：写真）10/4、5 ・啓発冊子作製・リーフレット増刷（添付資料：冊子1500部・リーフレット3000部）
<p>事業実施の体制</p> <p>・実施者名</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総括責任者 河本 美津子 2. 個別事業責任者 フォーラム・・・太田理香 学習会・・・山下明美・河本美津子 花育ワークショップ・・・吉原ハルコ 模型ワークショップ・・・伊藤文香 鍵盤ハーモニカワークショップ・・・大山久美 DVD鑑賞会・・・木村咲子・河本美津子 子育てイベントアンケート・・・太田理香 里親月間パネル展・・・植山一夫 冊子・リーフレット作製・・・河本美津子 3. その他事業従事者 役割・氏名

事業実施経過	月 日	実施内容
	5月20日	「花育」ワークショップ（第1回）
	8月10日	学習会「愛着障害？」子どもとの向き合い方
	8月29・30日	模型ワークショップ「こんな家で暮らしてみたいな」（1回2日間）
	9月2日	「花育」ワークショップ（第2回）
	9月9日	「鍵盤ハーモニカ」ワークショップ（第1回）
	9月14日	DVD鑑賞会
	9月17・18日	子育てイベントアンケート
	10月4・5日	里親月間パネル展
	10月7日	社会的養護・里親制度についてのフォーラム ～聞いてみよう、当事者の声。探そう、私にできること～
	10月14日	「鍵盤ハーモニカ」ワークショップ（第2回）
	11月11日	DVD鑑賞会
	11月18日	「花育」ワークショップ（第3回）
	11月25日	「鍵盤ハーモニカ」ワークショップ（第3回）
	12月3日	「鍵盤ハーモニカ」ワークショップ（第4回）
	12月9日	「鍵盤ハーモニカ」ワークショップ（第5回）
	1月19日	「鍵盤ハーモニカ」ワークショップ（第6回）
	2月17日	「鍵盤ハーモニカ」ワークショップ（第7回）
	2月25日	「花育」ワークショップ（第4回）
	3月15日	学習会「幸せな心の育て方」
3月24日	「鍵盤ハーモニカ」ワークショップ（第8回）	
実施上で連携した団	名称	期待される役割
	岡山市里親会	フォーラムでの里親体験の紹介
	CAP 岡山	学習会の講師紹介

(様式第7号)

平成29年度市民協働推進モデル事業収支決算書

事業名	里親委託を推進するための、里親制度の普及啓発
-----	------------------------

<収入>

費目		金額	内訳
自己資金	実施団体	732	
	その他	0	
自己資金等合計(a)		732	
事業収入		35,000	
事業収入合計(b)		35,000	8/10 40人×500円=20,000円 3/15 30人×500円=15,000円
その他収入		0	
その他収入合計(c)		0	
岡山市補助金決定額(d)		1,077,000	
収入合計(e)=(a)+(b)+(c)+(d)		1,112,732	

<支出>

費目	金額	内訳	証拠書類番号
人件費	65,000	○モデル事業会議・円卓会議・事業会議 河本美津子(H29.5.17~H30.3.8) 賃金1,000円×34.5時間=34,500円 太田理香(H29.5.17~H20.3.8) 賃金1,000円×24時間=24,000円 ○里親月間展示 大藤雅子(H29.10.4~H29.10.5) 賃金1,000円×1時間=1,000円 平尾壽代(H29.10.4) 賃金1,000円×1時間=1,000円 ○円卓会議・事業会議 木口優(H29.6.29、H29.8.2) 賃金1,000×4.5時間=4,500	1

事業 実施 経費	諸謝金	316,000	○花育ワークショップ 講師料 吉原ハルコ10,000円×4回=40,000円 ○模型ワークショップ 講師料 伊藤文香10,000円×2回=20,000円 ○鍵盤ハーモニカワークショップ 講師料 大山久美10,000円×4回=40,000円 ○社会的養護・里親制度についてのフォーラム 講師料:悠々ホルン30,000円、槇尾真佐枝5,000円、野木寛明5,000円、片山克子3,000円、宮城ひとみ3,000円	2~5 6 7~10 11~16	
	交通費	80,980	○愛着障害についての学習会 講師料 米澤好史70,000円 ○「幸せになる心の育て方」学習会 講師料 岩堀美雪100,000円	17 18	
	通信費	1,490	○会議駐車場代(十回)5,200円 ○愛着障害についての学習会 講師宿泊費15,500円 ○社会的養護・里親制度についてのフォーラム 交通費18,000円、35,520円 タクシー代3,220円 ○「幸せな心の作り方」学習会 タクシー代3,540円 ○チラシ等郵送費(二回) 1,490円	19~34 35 36~40 41 42 43	
	消耗費	126,262	○花育ワークショップ 花代(4回分)95,500円 ○印刷用インク・コピー用紙代 11,041円 ○コピー代(3回) 2,361円 ○文房具・景品代 1,885円 ○DVD購入費(2本) 6,410円 ○模型ワークショップ 材料費 9,065円	44~48 49,50 51~53 54~56 57,58 59~63	
	食糧費	23,584	○愛着障害についての学習会 講師用弁当代 1,350円 茶菓代 1,594円 飲料代 300円 ○社会的養護・里親制度についてのフォーラム 弁当代 11,880円 茶菓代 3,481円 ○「幸せになる心の育て方」学習会 打ち合わせ昼食代 2,390円 茶菓代 2,589円	64,65 66~69 70~75	
	賃貸料	2,400	○DVD鑑賞会 会場費 2,400円	76	
	印刷製本費	495,288	○学習会(二回)、フォーラム チラシ制作費(三回分) 168,804円 ○冊子製作・リーフレット追加印刷 製作費 326,484円	77~79 80	
	事業実施経費合計(f)		1,111,004		
	管理 費 運	振込手数料	1,728	○花育ワークショップ諸費用振込 216円 ○チラシ・冊子印刷費振込(4回) 1,512円	81 82~85
管理運営費合計(g)		1,728			
総事業費(h)=(f)+(g)		1,112,732			